

よう

こう

陽光

菊陽町立菊陽中部小学校
2021年（令和3年）



学校だより
12月7日
第32号
文責：佐賀

校訓
夢を持って歩み続ける



師走です。後期前半も残りわずか・・・

12月に入り、寒さが増してきました。新型コロナウイルス感染症の感染状況も落ち着きを見せており、学校の教育活動も順調に行うことができます。引き続き感染予防に努めながら、楽しい冬休みを迎えることができますよう、子どもさんの健康管理をよろしくお願いいたします。冬休みは12/25～です。



↑ 集会の目的を発表する本校児童

一人ひとりがいじめや差別をなくす行動を・・・ ～部落差別をはじめあらゆる差別をなくす 第37回菊陽町人権子ども集会～

今年度は、武蔵ヶ丘中学校がホスト校となり、町内各小中学校をオンラインで結んでの集会が開催されました。本校児童は、約100名（4～6年の希望者）が学校に集まり、密を避けるため、5つの教室等に分かれて発表校（西小・武小・武北小・菊陽中）の動画を視聴しました。本校の担当は、集会の目的発表でした。実に堂々とした態度で気持ちを込めて発表できました。

- 【集会の目的】
- 身の周りのおかしさに気づき、何が正しいかを判断し、行動する。
 - 自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちを考えて行動する。
 - お互いを知り合い、自分の気持ちが伝え合える関係をつくる。

参加した児童は、自分と重ねながら真剣に各校の発表を聞いたり、発表に対する返しをメモしたりしていました。今回の集会で学びを深め、人権意識が集会前より高まったはずの児童に、次のような話をしました。「菊陽中部小学校は『命（心と体）を大切にしたいやりあふれる学校』を目指しています。このめざす学校像には、いじめや差別を絶対にしない、許さない子どもであって欲しいという強い思いが込められています。本日参加したみなさんは、そんな学校をつくるためのリーダーになって欲しいのです。また、今高まった人権感覚は、何もしないでおくと、薄れてきます。ですから、今後、より一層勉強を続けてください。」学校に行けば、自分の悩みを心から聞いてくれる友だちや先生方がいる、学校が楽しいと思う児童が今以上に増えることを願っています。

☆本校児童が描いた『人権ポスター』～自分や友だちを好きになり大切にすることが増えますように～



熊日ジュニア科学賞（県科学展）
県発明協会会長賞（県発明工夫展）

W 受賞の快挙！！

本校6年生、一安 眺さんの作品「はやく食べたい！一発で開ける！お菓子の袋」が県展でダブル受賞しました。子どもらしい発想と緻密な実験結果が評価されたようです。おめでとうございます！！光輝いた中部小っ子の一人です。